

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52411	幼児表現(造形) Drawing and manual art	加藤 克俊		専門	1	必修	1年前期

科目の概要

絵の具・パス・サインペン・版画インクといった造形の作品制作に使用する描画材料は、工夫して用いることでさまざまな表現が可能になる。この授業では造形の作品制作を通して、子どもの視点から制作におけるポイントを探していく。また、幼児教育及び、保育の現場で活躍するための知識・技能を修得する。

学修内容	到達目標
30種類の平面技法を学び、まとめる。 友だちの作品を見ながら、各々の表現を認め合う。 身近な素材を使い、制作を工夫して楽しむ。 保育者として配慮すべきことを考え、まとめる。 子どもの視点を意識した制作から、表現を楽しむ。	ものの美しさに対する豊かな感性をもつことができる。 自分なりの表現を楽しむことができる。 生活の中から作品のイメージを膨らますことができる。 保育者として配慮すべき内容を知ることができる。 子どもに伝えるべき技術を身につけることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自分がすべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。周囲に流されず、やるべきことに集中できる。
	働きかけ力	同じ目標を持つ仲間として、学ぶべき事、やるべきことを周囲と共有し、ともに成長しようとするができる。
	実行力	自分の力を把握し、完成までに必要な時間を見極め、計画的に制作を進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	毎回の制作過程や、活動の終わりに自分に足りない力を分析することができる。
	計画力	ドローイングの手順として、どのような準備が必要か、考えながら取り組むことができる。
	創造力	既存のイラストやキャラクターにとらわれず、自分なりのモチーフによって楽しく制作ができる。失敗した箇所は、そこから新たな発想で異なるイメージに発展させることができる。
チームで働く力	発信力	制作のまとめにおいて、自分だけでなく、だれが読んでも手順を理解できる工夫がされている。また、分かりやすく伝えることができる。
	傾聴力	内容の確認や質問などを行いながら、相手の意見を正確に理解することができ、必要な情報を得るために集中することができる。
	柔軟性	自分の考えに固執せず、周囲の意見を新しい考えとして積極的に受け入れ、制作に活かすことができる。
	状況把握力	準備や片付けにおいて、周囲の状況から自分の役割を理解し、行動することができる。
	規律性	周囲に迷惑を掛けないよう、守らなければならないルールや約束、マナーを理解することができる。
	ストレスコントロール力	ストレスの原因が何なのか自身をみつめ、だれかに話を聞いてもらうなどして緩和することに努める。どうしようもないことについては深く考えない。

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しません。

参考文献：『幼稚園・保育所の保育内容 理論と実践 保育表現 (造形)』田研出版株式会社 ¥3800(税別)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：造形

資格との関連：幼稚園教諭二種免許状

学修上の助言	受講生とのルール
技法についていかにしてまとめてあるかを重視する。保育者としてどういった要点があるのか考えながら取り組んでほしい。毎回の説明を聞き漏らさないこと。また、提出期限を必ず守ること。	わからないことについては質問をして欲しいが、すでに説明した内容と同じことは受け付けない。欠席などでできなかった分は、友達に聞いて必ずやること。また、提出期限を必ず守ること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート					①	
							②	
							③	
							④	
							⑤	
	成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		90		①		✓	
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤		✓	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①				
				②				
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>それぞれの技法について見やすく、分かりやすくまとまっており、ポイントについても自分が子どもに対して指導することを前提とした思慮がされていること。提出期限を守ること。() 技法を使った作品も非常に丁寧に作られており、全体として本科目を楽しんでいることが伝わるような仕上がりが見られること。() S(秀) = +、A(優) =</p>	<p>それぞれの技法についてまとまっており、ポイントについても自分が子どもに対して指導することを前提とした思慮がされていること。() 完成作品を、期限を守って提出すること。() B(良) = +、C(可) =</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス 「色鉛筆の100色パレット」扱いやすい画材は、その使い方を工夫することを忘れてしまいます。使い方しだいで表現が広がることを実感します。	実習 この授業の到達目標の基準を確認する。	本科目の進行について理解する。 色鉛筆の重ね塗りによる表現の広がりを理解する。	(復習)色鉛筆の重ね塗りの順番で違う色が作れることをまとめる。 (予習)ドリッピングの技法について調べておく。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	「吹きながし」「たらし絵」「合わせ絵」子どもたちの身体能力は未発達な部分もあります。表現活動の中で、どのような点に注意すべきか考えます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 身体能力と描画による表現の密接な関係を理解する。	(復習)身体能力と描画による表現の密接な関係を理解する。(予習)歯ブラシ、スポンジを使った描画法について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	「霧ふりかけ」「にじみ絵」「スポンジ画」どういった完成図にするか、計画しながら制作を進めていき、その中から新たな発想が浮かぶことがあります。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 構想を練って計画的に制作を進めることができる。	(復習)手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習)保育現場における子ども手形の意味について考える。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	「サインペンの水描き」「指絵」「手型足型とり」身体の形を使った描画は、特に子どもにとっては成長の軌跡となります。その表現の魅力を実感します。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 絵の具の感触を直に感じ、子どもと同じ感覚で表現を楽しむ。	(復習)子どもが様々なものに触れ、感じ、学ぶことについて調べる。 (予習)クレヨンの定義について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	「ステンシル」「ひっかき絵」「はじき絵」画材を組み合わせて使うことで科学的な効果が起こり、子どもにとって、あっと驚くような制作を体験します。	実習 友だちと作品を見せて合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 クレヨンを使った表現について注意点を理解し、楽しむことができる。	(復習)クレヨンの持つ特性を理解し、制作をまとめる。 (予習)基礎的な版画技法について調べ、作品の構想を練る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	「フォトモンタージュ」「ステロールモノプリント」「ポンド版画」版を刷るには凹凸をつくらねばなりません。その方法は色々あります。子どもにとって身近なものを使って版をつくりまします。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 版画は手順の多い制作の一つであるが、説明に耳を傾け、理解し、丁寧な制作ができる。	(復習)手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習)基礎的な版画技法について調べ、作品の構想を練る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	「紙版画」「転写刷」版を刷るには凹凸をつくらねばなりません。その方法は色々あります。子どもにとっても身近なものを使って版をつくりまします。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 版には凹凸が必要であるが、逆に凹凸があれば何でも版になることを理解する。	(復習)手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習)基礎的な版画技法について調べ、作品の構想を練る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	「ダンボールの型押し」「孔版」同じ形を画面上に繰り返せることが、版の特徴です。その特徴を理解し、十分に造形遊びに取り組みまします。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。 繰り返しは子どもが没頭するときの特徴的な行動であることを理解する。	(復習)繰り返しは子どもが没頭するときの特徴的な行動であることを理解し、制作をまとめる。 (予習)身近な素材を使った制作に備える。子どもの嫌いな野菜を調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	「重ね色スタンピング」「ビー玉ころがし」生活の中には描画材となりえるものが沢山あります。それらはそのまま素材にもなるし、道具にもなります。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。身近なものを描画材として使う柔軟な発想を養う。	(復習)他にどのような身近な素材が描画材に活かせるか考える。 (予習)世界のマーブリングの技法について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	「ウォッシング」「墨ながし」「こすり出し」手順や気を付けるべき所が多い制作は、十分に説明を理會しておかなくてはなりません。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。説明に耳を傾け、理解し、丁寧な制作ができる。	(復習)手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習)たこ糸を使った描画法について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	「墨つけデザイン」「糸ころがし」「糸ひき絵」画材として糸一本も、使い方によって描画表現が変化します。固定概念にとらわれず、工夫することの楽しさを学びます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。身近なものを描画材として、様々な方法で使う柔軟な発想を養う。	(復習)たこ糸を使った描画法が、他にもできないか考えてみる。 (予習)シャボン液のつくり方について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	「アワうつし」「紙の折染め」絵の具が紙の繊維に染み込んでいくのは、自然の力です。自分が意図しない美しさを発見することができます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。シャボン液の配合と、折染めの折り方について理解する。	(復習)シャボン液の配合と、折染めの折り方について理解し、制作をまとめる。 (予習)点描など、小さいものの集合による表現について調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	「砂絵」「ちぎり絵」小さいものを集めることで画面をつくることもできます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	各技法について、制作とまとめを完成する。砂粒やちぎった色紙の集合によって、絵の具とは違った表現を楽しむことができる。	(復習)視覚混合と補色対比について理解する。 (予習)どのような表紙にするか、構想を練る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	「これまでに学んだ技法を使った表紙制作」テーマに沿った制作をします。半期のまとめの活動として、学んだ技法を活かした表現を楽しみます。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	制作を完成する。3つ以上の技法を使って八つ切り画用紙に制作をする。	(復習)これまでの制作をふりかえり、まとめきれていない部分を完成させる。 (予習)これまでの作品を順にそるえる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	製本「目次の制作」これまでの作品をまとめ、いつでも見返せるように本にします。造形を教える人になるなら、自分の制作物を大切にできる人になりましょう。	実習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。	制作を完成する。子どもの成長は著しいので、制作物も見る見る変化していく。子どもの制作物を大切にできる保育士は、自分の制作物も大切にできることを理解する。	(復習)作品提出に向けて不備がないかよく確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52412	幼児表現（造形Ⅱ） Drawing and manual（artⅡ）	山本 辰典		専門	1	必修	1年後期

科目の概要

この授業では、造形の指導者になるということを強く意識しながら、造形の構成要素である「色」「材料」および「道具」の基礎、理論を修得します。また、保育者自身がカリキュラムといえる保育の世界において、子どもたちの創造的な表現活動を導き出すためには、保育者自身が感性を磨くことも大切になってきます。よって、自らの感性を高めるべく、習った理論に基づいた各種の制作も行っていきます。この制作も常に保育現場を想定しながら展開していきます。そして、子ども造形の理論についても修得します。子どもの造形の理解については、理論学習に加え、各自が持参した子ども作品の鑑賞とおして深めていきます。

学修内容	到達目標
① 造形の構成要素である「色」「材料」および「道具」の基礎・理論を習得する。 ② ①で習った基礎・理論に基づいて制作をおこなうことにより、より深い理解を目指すとともに、保育者としての感性を磨く。 ③ 子どもの造形やその造形理論について習得する。 ④ まとめとして段ボール作品と指導案抄の制作をする。	① 色のこと（三原色、混色、補色の混色）を理解し、それに関する作品を作ることができる。 ② 保育造形に使う画材、材料、道具を理解し、それに関する作品を作ることができる。 ③ 子どもの造形やその造形理論について理解し、指導する手立てを修得することができる。 ④ 段ボール作品をつくり、造形に関する指導案抄を立案することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに、自ら進んで学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題をするために、手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	必要な情報を見つけて整理し、自ら課題を見つけることができる
	計画力	
	創造力	課題を終了するために、造形的創造力を発揮することができる。
チームで働く力	発信力	発表の仕方を工夫して発表できる。
	傾聴力	人の発表に耳を傾け、実践的な理解を深めることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をすることなく、積極的に授業に参加することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『よくわかる！子どもの造形入門50話』石川博章 人間社
 プリント配布あり（記入し提出する必要あり）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児表現（造形Ⅰ）、幼児表現（造形Ⅲ）、保育内容（表現）
 資格との関連：保育士資格、幼稚園教諭二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶという自覚を持って取り組んでほしい。 ・課題として子ども作品の提出があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20分を超えた遅刻は、欠席扱いとする ・すべての提出物を出さないと及第しない ・提出期限に遅れた場合は減点する ・授業態度が悪い場合は減点することがある ・遅刻が多い場合は、欠席に換算することがある ・欠席は減点する場合があります

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
平常評価	レポート			①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
平常評価	成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	90		①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・色相図(描き漏れがなく、提出したか) ・三原色の構成(課題を理解し、自己表現ができているか。完成度があるか) ・学習プリント[クレヨン等](記入漏れがなく、提出したか) ・学習プリント[ハサミ等](記入漏れがなく、提出したか) ・自然物、手芸用品を使った制作(課題を理解し、自己表現ができているか。完成度があるか) ・学習プリント[子どもの絵①](記入漏れがなく、提出したか) ・学習プリント[子どもの絵②](記入漏れがなく、提出したか) ・子どもの絵(発表を行い、提出したか) ・鑑賞プリント(記入漏れがなく、提出したか) ・段ボール作品(課題を理解し、自己表現ができているか。完成度があるか。) ・指導案(抄)(記入漏れがなく、提出したか) 	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓	主体性：自ら進んで学修することができる 実行力：提出物の期限を守ることができる 課題発見力：必要な情報を見つけて整理し、自ら課題を見つけることができる 創造力：課題を終了するために、造形的創造力を発揮することができる。 発信力：発表の仕方を工夫して発表できる。 傾聴力：人の発表に耳を傾け、実践的な理解を深めることができる。 規律性：無断欠席をすることなく、積極的に授業に参加することができる	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤			
総合評価 割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
制作課題を、期限内に提出し、創造的で完成度が高いこと。 加点課題については記入漏れ等がなく期限内に提出すること。 S(秀)になるためには、全課題の合計が90点以上であること。	制作課題を完成して、期限内に提出すること。 加点課題については、期限を守って提出すること。 以上の全課題の合計が70~79点がB、60点以上をCとする

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	導入、色についてⅠ ①造形要素(色、形、素材、道具等)について ②子どもと色 ③色づくり(色相図の制作)	講義 制作	授業内容を理解できない。混色によって色相図を作ることができない。	復習:制作できなかった部分を制作する	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
2週 /	色についてⅡ ①色づくり(色相図の制作) ②補色の混色)	制作	混色によって色相図を作ることができる。補色混色の実験ができる	予習:作品の構想を練る 復習:時間切れで制作できなかった部分を制作する	180	主体性 実行力 創造力
3週 /	色についてⅢ ①三原色でつくったいろいろな色をつかい作品を作る(葉のスタンプで花を作る)	制作	三原色を使って、いろいろな色を作り、花模様のパターン画を作ることができる	予習:作品の構想を練る 復習:制作できなかった部分を制作する	180	主体性 実行力 創造力
4週 /	材料・道具についての話Ⅰ(保育者にとってのエッセンシャル) ①クレヨン②絵の具③マーカー④パレット、絵具スタンド⑤筆、ローラーなど	講義	授業内容を理解し、プリント学習ができる	予習:テキストで関連ページを予習しておく 復習:テキストで関連ページを復習しておく	180	傾聴力
5週 /	材料・道具についての話Ⅱ(保育者にとってのエッセンシャル) ①はさみ、カッターナイフ②接着剤③テープ④かなづち、のこぎりなど	講義	授業内容を理解し、プリント学習ができる	予習:テキストで関連ページを予習しておく 復習:テキストで関連ページを復習しておく	180	傾聴力
6週 /	材料のを活かした制作(立体素材(自然素材と手芸用品等)と木工用ボンドを使ったレリーフづくり)	制作 フィードバック	自然素材と手芸素材を使って、作品を作ることができる	予習:作品の構想を練る 復習:制作できなかった部分を制作する	180	主体性 実行力 創造力
7週 /	子どもの造形についての話Ⅰ ①保育造形の基本 ②子どもの絵の発達)	講義	授業内容を理解し、プリント学習ができる	予習:テキストで関連ページを予習しておく 復習:テキストで関連ページを復習しておく	180	傾聴力 課題発見力
8週 /	子どもの造形についての話Ⅱ ①障害と子どもの絵 ②男女による絵の相違 ③立体造形の発達 ④保育の中の造形)	講義	授業内容を理解し、プリント学習ができる	予習:テキストで関連ページを予習しておく 復習:テキストで関連ページを復習しておく	180	傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	子どもの絵の鑑賞Ⅰ ①個人の発表 ②意見発表 ③教員からのコメント	講義	鑑賞を行い、プリント学習ができる	予習：子ども作品発表の準備をする 復習：鑑賞シートの作成をする	180	主体性 実行力 創造力
10週 /	子どもの絵の鑑賞Ⅱ ①個人の発表 ②意見発表 ③教員からのコメント	講義	鑑賞を行い、プリント学習ができる	予習：子ども作品発表の準備をする 復習：鑑賞シートの作成をする	180	主体性 実行力 傾聴力
11週 /	ダンボール箱を使った制作Ⅰ ①導入 ②子どもと遊び ③ダンボールという素材について ④制作についての条件)	講義 制作	授業内容を理解し、制作計画を立てることができる	予習：テキストで関連ページを予習しておく 復習：作品の構想を練る 指導案(抄)を作成する	180	主体性 実行力 傾聴力 創造力 発信力
12週 /	ダンボール箱を使った制作Ⅱ ①アイデア構想 ②本制作	制作	授業内容を理解し、制作計画を立てることができる	予習：作品の構想を練る 指導案(抄)を作成する 復習：作品の構想を練る。指導案(抄)を作成する	180	主体性 実行力 創造力
13週 /	ダンボール箱を使った制作Ⅲ ①本制作 ②指導案(抄)の作成)	制作	計画に基づいて、制作することができる	予習：作品制作をする 指導案(抄)を作成する 復習：作品制作をする 指導案(抄)を作成する	180	主体性 実行力 創造力
14週 /	ダンボール箱を使った制作Ⅳ ①本制作 ②制作の記録(抄)の作成)	制作	計画に基づいて、制作することができる	予習：作品制作をする 指導案(抄)を作成する 復習：作品制作をする 指導案(抄)を作成する	180	主体性 実行力 創造力
15週 /	ダンボール箱を使った制作Ⅴ ①本制作 ②採点 ③講評	制作	計画に基づいて、制作することができる 指導案抄を完成できる	予習：作品制作をする 指導案(抄)を作成する	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力